

マーケットの動き (2023年2月27日～3月3日)

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。米国金利の上昇圧力が高まる中、日銀新体制下で早期に金融緩和策を修正するとの見方が後退したことで円売り・米ドル買いの動きがあった一方、目先の円安圧力の高まりを意識した利益確定目的や持ち高調整の円買い・米ドル売りの動きもあり、週を通して方向感に欠ける展開となりました。ユーロは、前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し (2023年3月)

米ドル、ユーロともに円に対してレンジ内での動き

日銀が現行の金融緩和策を修正しFRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げを停止するとの一部の見方が円高圧力として残ります。一方、米国景気については個人消費に支えられ、物価抑制に対処するため利上げを継続するとの観測が浮上しています。また、欧州景気は暖冬による天然ガス価格下落に支えられ堅調とみられることに加え、日本の構造的な貿易赤字による円安圧力もあり、レンジ内で推移するとみえています。

	3月3日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	136.34	▲0.04	5.30	▲3.69	20.71
ユーロ/円	144.49	0.72	2.21	4.07	16.57

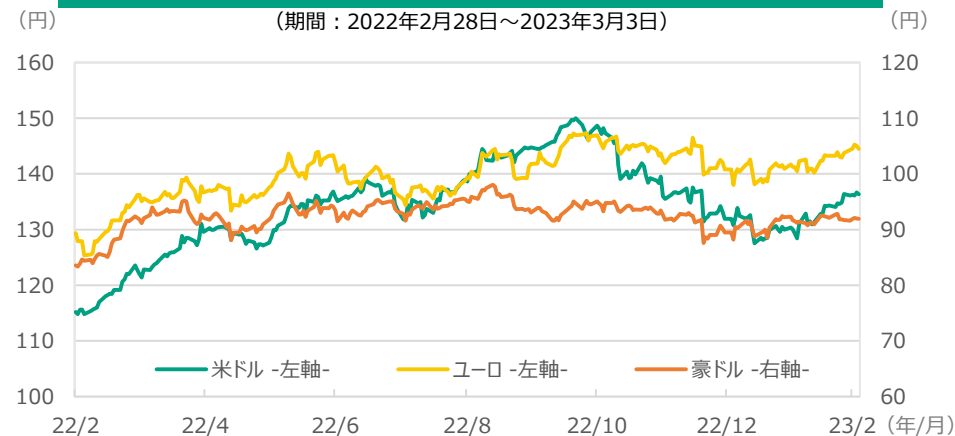
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

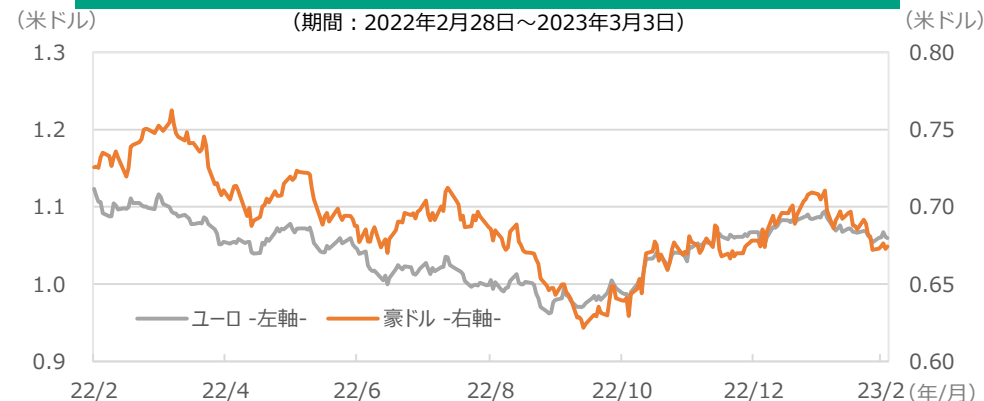
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202303_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成